

中小学校だより

February 28th. 2018 No. 1 2

感謝の思いを伝える

2月20日（火曜日）に、毎年恒例となった「感謝の会」が行われました。

中小学校では、登下校の時間にそれぞれの地域でお世話になる「見守り隊ボランティア」の皆様、総合的な学習の時間にお世話になる地域先生、そして朝の読み聞かせでお世話になるボランティアの皆様など、大変多くの方々にお世話になっています。そういった方々のおかげで、毎日がより安全に、より豊かに暮らすことができます。代表でご挨拶された普天間さんは「中小学校のみなさんが、毎朝元気に挨拶をしてくれることで元気をもらっています。」とおっしゃっていただけました。中小学校が大切にしている「あすなろの『あ』（あいさつ）」が地域でもはつきされているのを感じました。会に参加してくださった皆さんに、子ども達からのミニレターを綴ったものをお渡しして、全校児童で二部合唱をしました。古川校長先生は「感謝の言葉は今日この会でしっかり伝えることも大切ですが、地域でも伝えることができます。毎朝の『おはようございます』や『ありがとうございます』でも感謝の思いをしっかりと伝えていきましょう。」とお話しされました。



後日、会に参加された見守り隊ボランティアの方が、「中小学校の皆さんに書いてもらったメッセージを読んで、本当に嬉しかった。あれを読んだ人は『もっと頑張ろう』という気持ちになったと思いますよ。」と笑顔でお話ししてくださったことがとても印象的でした。



3学期もあと1ヶ月。長いと思っていた一年も、もう終わりに近づいています。6年生は、あと20日足らずで慣れた学舎を卒業します。在校生も新しい学年へと進級します。安心して次の学年へ進めるように、今できることをきちんとやりきる。そんな3月です。

低学年・中学年も情報モラルについて学びました

2月16日（金曜日）に前回の高学年の時と同じく、瑞穂市教育委員会の伊藤 貴範先生に「情報モラル」について教えていただきました。奇しくも、国の方でも「ネットの危険からお子様を守るために、今保護者ができること」というリーフレットが作られ、内閣府のホームページにも掲載されています。



http://www8.cao.go.jp/youth/kankyau/internet_use/h29/leaflet.htm
1

子ども達も「ネットに流れた情報は回収が困難なこと」「ネットだけでは相手の本当の姿はわからないこと」「使いすぎで生活リズムが乱れること」を学習しました。便利な分だけ、危険も伴うことを、学年の発達段階に応じて分かりやすく話ししていただいた研修となりました。

3月のPTA緊急メールのテスト配信について

3月5日（月）の午前10時頃に、メールのテスト配信をします。万が一、メールが受信できなかった場合のみ、学校に連絡をください。なお、来年度からは瑞穂市で緊急メールが一括契約されるため、このような形でのテスト配信は今回がラストとなります。